

授業 コード	10261	科目名	総合日本語	担当者		松本 亮			
	10265	副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	3,K4

【授業概要】

大学生生活に必要な日本語能力を習得するために、四技能(読む、聴く、書く、話す)を総合的に用いて日本語を学び、身に付けます。その中から、この授業では特に読解能力を中心に置いて、日本語による論理的思考を重点的に使っていきます。

【到達目標】

新聞や雑誌の論考や新書レベルの日本語が読めるようになる。
テーマに従い日本語の資料を読み込み、まとめることができる。
日本語で論理的な思考構成を理解し、意見を表明できる。

【授業方法・計画】

できる限り毎回、授業の前半は、前回までに読んだ文章に関する小テストと、日本語能力試験の2～1級レベルの文字・語彙の練習問題を行う。後半は教科書や配付するプリントを使って読解練習をする。読解では、内容に関する問題を解く、関連する資料を読んでまとめる、それを皆の前で発表する、アンケートなどを使って調べる、討論をするなどの作業を通して、要点のまとめ、理解、意見表明の練習をする。予定ですので、受講生のレベルや人数、出席状況によって進みは遅れることがあります。

第1回	イントロダクションと自己紹介
第2回	第1課「私のニュースの読み方」
第3回	第2課「価値の多様性」
第4回	第3課「言葉の起源を求めて」
第5回	第1～3課のまとめ
第6回	トピック演習(1)「生活習慣と宗教」
第7回	トピック演習(2)「グラフの読み方、関連資料の読み方」
第8回	トピック演習(3)「アンケート調査実践」
第9回	トピック演習(4)「口頭発表」
第10回	トピック演習のまとめ
第11回	第4課「経済学とは何か」
第12回	第5課「思いやり」
第13回	第6課「住まいの思想」
第14回	総まとめと実践的読解

【準備学習・復習】

毎回新たに読む長文は教科書あるいは配付するテキストです。準備学習として次に読むテキストは目を通し、読めない漢字や語彙を調べること(100分)。また普段から新聞や雑誌、他の授業の資料・テキスト・参考教科書を読み、漢字の読みや単語、文法など整理することを心がけてください(特別の予習は課しません)。また、授業には辞書を必ず用意してください。授業にて読んだ長文について、漢字や表現の小テストを次回に行いますので、復習してください(100分)。

【課題に対するフィードバックの方法】

小テストは返却時に解説をします。毎回読むテキストは前もって読んでくれることが求められますが、関連する語彙やテーマを授業内で指摘しますので、積極的に取り組んでください。途中で教科書をまとめて提出させ、進捗状況なども確認します。

【受講上のアドバイスおよび注意事項】

授業中のスマートフォンの私的利用については厳しく注意し、場合によっては欠席扱いとします。授業中の私語も注意しますが、テーマに沿った日本語の自由な発言はむしろ歓迎します。日本語に関する質問は、他の授業のことについても、いつでも、大歓迎です。授業後、研究室など利用してください。

成績評価方法	授業内の小テスト類(40%)、教科書の進捗状況(20%)、その他提出物(40%)による総合判断
教科書	『読む力(中上級)』(くろしお出版、2013年)ISBN:978-4-87424-584-2
参考書	『トピックによる日本語総合演習～テーマ探しから発表へ』(スリーエーネットワーク、2010年)ISBN:978-4-88319-523-7

CB0109	授業に関連する実務経験	なし
--------	-------------	----